

《 新ビジョンの実現に向けて 》

平成16年3月、『石川県生涯学習振興ビジョン〈新〉いしかわ学びピア構想』が策定され、5つの観点を基盤にして「めざす石川の生涯学習社会」構築のために、全県あげて取り組みを進めていくことになりました。石川県立生涯学習センターにおいても、この理念に基づき豊かな生涯学習社会づくりのために努力して行きたいと考えています。



抱負……豊かな生涯学習社会をめざして……

石川県立生涯学習センター
館長 新村 健了

学校教育が目指すのは、心豊かでたくましい人間を育て、自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」という生涯学習の基本的な資質の育成である。では、生涯学習を実際に行っている人は、なぜ生涯学習をするのだろうか。その背景には、時間にゆとりができたからとか、心の豊かさを得るためとか、あるいは仕事に役立てたいからなどが挙げられる。それだけでなく、「学ぶ」ことが楽しみであり生きがいであるという人も見られる。このように生涯学習は本人の自発性に基づく自己実現のための活動とすることができる。

このことは、平成14年の「まなびピア石川2002」の開催を機に、県民の皆様の生涯学習への関心が高まるなどの成果をあげたことを受けて、この3月に策定された「石川県生涯学習振興ビジョン」においても、国際化、情報化、高齢社会の進展など社会の急激な変化を見据え、今後10年間にわたる視点に立って、①自ら学び、心の豊かさを実感できる社会、②人々が交流し、互いに学び、支え合う社会、③魅力ある石川の風土に学び、ふるさとに愛着と誇りをもてる社会、④学びの環境が整備された社会、⑤学びの気運に満ちた活力ある社会の「石川型生涯学習社会」構築を目指していることでもわかる。

当センターとしては、昨年、石川県立生涯学習センターと改称し、併せて能登分室を開設して生涯学習のための基盤整備を図ったところである。今後は、都心地、広坂という絶好の緑地空間を県民に親しまれる生涯学習の場として、また生涯学習の情報発信基地としての役割を積極的に果たしたいと考えている。そして、新ビジョンを踏まえて、県民のどなたでも、必要に応じていつでもどこにいても学ぶことができるように、市町村、学校、関係団体等と一層の連携を図りながら、夢多い生涯学習社会の実現に向かって前進してまいりたい。県民の皆様のさらなるご理解ご支援をよろしくお願い致します。